

三鷹まちづくり総合研究所

「オープンソース・ソフトウェアを活用した地域活性化に向けた研究会」

(第1回議事録要旨)

日時：平成24年6月19日(火)午後6時30分～8時30分

場所：三鷹ネットワーク大学

研究員：内田治(座長)、後藤省二(副座長)、清水富美夫(副座長)、大朝摂子、
田口智英、新藤豊、宇山陽子、大高俊彦

ワーキングチーム：齊藤大輔、佐々木健、土合成幸、渡邊正人、大地好行、出田健二

事務局：三鷹市企画経営課、三鷹市立図書館、三鷹ネットワーク大学

1. 研究員の委嘱

○研究所所長の清原慶子市長より、各研究員に委嘱状の授与が行なわれた。

2. 研究所所長挨拶

○清原慶子市長より、第1回研究会開催にあたり、「三鷹まちづくり総合研究所」からはこれまでに三鷹市政の未来を開く政策が生まれているので、今回もそういった取組みにしたい。研究員及びワーキングチームの皆さんの情熱と集中力で、「Rubyを活用した具体的な図書館システム」について望ましい成果があり、地域活性化へつながることを期待しているとお話しいたされた。

3. 研究員及びワーキングチーム自己紹介

4. 座長及び座長代行の選出

○座長に三鷹市企画部調整担当部長の内田治氏が、座長代行には三鷹市企画部地域情報化担当部長の後藤省二氏と教育部生涯学習担当部長の清水富美夫氏が選出された。

5. 座長挨拶

○内田治座長より、今回のテーマは幅広い内容で、市役所の組織でも複数の部署がまたがるかたちで展開していくので、ぜひ皆さまからの具体的で活発な議論をお願いしたいというお話しがあった。

6. 内容

(1) 図書館システムの現状とオープンソース・ソフトウェアの活用について

(2) 今後の進め方

○事務局より、今回の研究会における基本的な考え方と研究会の設置及び進め方について説明があった。メインテーマの研究会は月1回が限界なので、それ以外のところでジャンル別に分科会を作って整理を進めていくこととした。また、ポキネットも活用する。